

様式第4号（第11項関係）

審議会等の会議の記録

審議会等の名称	平成27年度第3回西脇市まちづくり推進審議会
開催日時	平成27年9月30日（水）午後7時00分～9時00分
開催場所	西脇市生涯学習まちづくりセンター会議室2
出席委員の氏名 又は人数	直田春夫会長、岸本信子委員、村上均委員、篠田重一委員、大前道廣委員、黒崎晃史委員、徳丸徹委員、米田育子委員、清水賢一委員、小林茂夫委員、吉川勝子委員 計11名
欠席委員の氏名 又は人数	眞鍋宣征委員、藤井久美委員
出席職員の職・氏名 又は人数	都市経営部長 大前悟、まちづくり課長 柳田みどり、まちづくり課長補佐 池田正人、まちづくり課主任 和田裕行 計4名
公開・非公開の別	公開
非公開の理由	—
傍聴人の数	1名
議題又は協議事項	1 協議等 (1) 「地域自治協議会」に関する「まちかどミーティング」での意見及び第2回審議会での主な意見について (2) 「地域自治協議会」における支援策について (3) その他 2 その他
会議の記録（概要）	
発言者	発言内容等
事務局	1 協議等 (1) 「地域自治協議会」に関する「まちかどミーティング」での意見及び第2回審議会での主な意見について 事務局から資料1、2に沿って、これまでに実施した「まちかどミーティング」で出た住民の意見の紹介と、前回の第2回まちづくり推進審議会での意見を振り返り、「地域自治協議会」について説明。
会長	既に開催された地区のまちかどミーティング及び前回の審議会での意見などを振り返ったが、実際にまちかどミーティングに参加された委員もいらっしゃるのので、皆さんから意見や感想

<p>委員</p>	<p>等を伺う。</p> <p>どの地域も共通して少子高齢化、若い世代の人口減少などに対する不安な気持ちを持っていると思う。一歩踏み出して大きなことをしようという思い、またそれを引っ張っていくリーダーがいるような地域があれば、そういうところから進めていくべきなのかなと思う。比延地区についてはすごく協力的な風土があり、人と人とのつながりやぬくもりがある地域なので、比較的地域自治協議会を作りやすいのではないかなと感じた。ただ、あと一歩というところが非常に難しいのかなと思う。地区内の町単位で見れば、限界集落に近いようなところもあるので、やはり危機感を持っておられると感じた。西脇地区についても他地区と同じように少子高齢化が進み、特に高齢化率が高い地区でもあるので、住民の皆さんが何とかしたいと思っておられることは伝わってくる。西脇地区については、各町の町内会長と別に独立した区長がいらっしゃるの、もし地域自治協議会をつくらうとしたときには一番しやすいと思うが、果たしてそれに対してどれだけ実効があるのかなと思った。芳田地区については、まだ地域自治協議会をつくってやっていくという雰囲気になっていないような印象を受けた。</p>
<p>委員</p>	<p>情熱を持った中心人物がいないと、地域自治協議会の設立はなかなか難しいかなと思う。強制的にやっていってもらえるようなものではないが、ターゲットを絞り、この地区で立ち上げてもらおうということをしていかないとなかなか進まないと思う。まちかどミーティングは市長が出席するので、この機会に色々聞いておきたいことや言いたいことを持ってこられる方が多く、なかなかこちらの思い通りに会が進んでいかない。要望等の意見ばかりになってしまうと方向がバラバラになり、あれをしてほしい、これをしてほしいといったことになる。どれも地域の課題ではあるが、会として前に進まない。今後開催する地区ではもう少し考えて説明していく必要があるかなと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>私は比延地区と西脇地区に参加した。比延地区はこれまで地域で色々な事をされてきており、前向きに取り組まれているような感じがした。西脇地区については市長に伝えたいことを持ってこられた方が多くあったようで、要望が多かったように思う。</p>
<p>委員</p>	<p>比延地区や西脇地区に参加したが、いろんな方から意見が出ていた。少しテーマから外れたところもあったと思うが、皆さんが色々発言をされたということは、いろんな面で協力的な証かなと思う。やはり地域自治協議会についてはモデル地区を一</p>

<p>委員</p>	<p>つ進めていき、検証を兼ねて進めていけば何とかかなるかなと感じた。</p> <p>本当に色々な方が様々な意見を言われることに驚いた。これまでそういった場にあまり参加してこなかったことに反省をした。地域自治協議会のメリットは、自分たちで色々な難関を突破していくなかで、自分たちのなかで自治意識が向上していく事かと思う。自分たちのものと考えの人が増えるのではないかと思う。しかし、一つの不公平感というものは拭いきれない気がする。例えば、自治組織として成熟していれば、客観的な資料を見ながら必要なことを進めていく事ができるが、そうでなければ、どうしても村意識などが出てきて、地区のなかで、また市のなかで声の大きいところが得をするのではないか、ほったらかしになるのではないかといった心配事が出てくると思う。本来は、声の出せない人も声を出していきましようという役割を持った地域自治協議会であるので、そのような意識を含め取っ払っていくべきことが多いかと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>比延地区について、可能性はかなり高いのではないかと思う。移動販売車の導入や、上比延工場公園がある事など資源がある。しかしながら、限界集落に近い地区も地域内にある。結果的に、住民に対し、地域自治協議会についてのことをもっと説明するべきかと思う。それぞれの区長にももっと理解をしてもらい、全体の意見調整を行い、方向性を導くことが必要かと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>私は地元で開催されたまちかどミーティングに参加した。事前に区長会で話しておくなど、地域自治協議会についてというテーマにもう少し説明すべきだったかなと思っている。今現在、芳田地区においてはまちづくり計画の再編ということで、まちづくり団体などが集まって議論をしていく事が多いが、行政が適切に支援していかなければなかなか進んでいかない。そういうことから、優秀なリーダーが必要かと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>やはり、「市長と語るまちかどミーティング」というのが出ているので、意識が要望等の方によっていると思う。まちかどミーティング前半の人口推移や地域自治協議会の説明については、反応が薄いように思う。どのようにして反応を良くしていくかというのはこれからの課題だと思う。人口推移のことを聞くと、ある程度危機感を感じるものの、それが地域自治協議会に住民の間で結びついていないと思う。そのため、浸透させていくためにPRをしていく事が大切になってくるかと思う。</p> <p>芳田地区に参加をしたが、本当にたくさんの方が来られてい</p>

委員	<p>た。ただ、内容としては皆さんが思われたように、地域自治協議会の話から離れた、身近な要望などの話が多かったように感じた。参加された方のなかには消防団やその他多くの若い方も来られていたので、傾向としてとても良いことだと思う。</p>
委員	<p>地域自治協議会などのことについて、一般の方の反応がとても薄いように思う。正直言うとわからないというのが本音かと思う。まちづくりガイドライン改訂版を何も言わずに知り合いに見てもらったことがあるが、その方々の反応も、よくわからないという感想だった。そのため、少し時間をかけてでも浸透させていく事が必要かと思う。今されているまちかどミーティングでは、新しい市長に期待され、聞きたいことや言いたいことなどを投掛ける方が多いと思うので、そこは分けて、別で朗読劇などをしていきながら、噛み砕いて伝えていく事でわかっていただけのではないかと思う。まちかどミーティングで意見が出にくいというのも、わからないから出せないというのに近いのかもしれない。</p>
会長	<p>ひととおりの意見を伺い、これまでまちかどミーティングが開催された3地域については多くの方に参加してもらい、意見も多く出たようだが、どちらかといえば市への要望のようなものが多かったという意見があった。その裏には、地域自治協議会等についての理解がまだまだ行き届いていないことがあると思う。地域自治協議会の仕組みはある意味新しい、これまでになかったものであるので、理解が進まない、意見が出ないというのは当然のことだ。説明することや、関心をひくことについて回数を重ね、またそのツール(わかり易いパンフレットや丁寧な説明会など)を活用し、気運を盛り上げていくことが必要だと思う。メリットがあるところを押し、負担感が増すといった印象をいかに払拭していくかが必要になってくる。今後も各地区で開催されるが、何についての意見がほしいのかを明確にし、市長にもアピールをしていただくことが必要になってくるかと思う。メリットについては地域の力を引き出し、地域力を上げ、色々な地域課題を解決させていくということに尽きる。地域自治協議会はいろんな人の声を吸い上げ、集約していくということが重要な役割で、これまで届かなかった人の声をきちんと反映させていく仕組みをつくることで、参加しようという人も増えてくる。地域自治協議会は個人参加制で、自治会等の一家一人制と違いみんなの声を聞き、活かしていくような流れをつくっていく事が必要だ。</p> <p>これまで開催されたところで共通して言えることだが、地区</p>

<p>委員</p> <p>委員</p> <p>会長</p>	<p>の代表区長に事前にもっと説明し、理解をしてもらい、代表区長に議論の方向付けをしてもらえるような地区では、比較的活発に意見が出るように思う。逆にそれが無ければ、まず地域自治協議会についての活発な意見交換は望めないと思う。</p> <p>各地区のまちかどミーティングで、参画と協働のまちづくりガイドラインのPRとして朗読劇をしているが、それと地域自治協議会とが直接に結び付いていないように思う。もう少しその繋がりを説明すればよいと思う。</p> <p>自治基本条例、参画と協働のまちづくりガイドライン、地域自治の仕組みはある意味セットで、これからの時代のまちづくりに必要なものとして関連立てて説明をしていくことが必要。自治基本条例をまちづくりの基本とし、その進め方をガイドラインで示し、実際に動いていくための仕組みとして地域自治協議会の設立を目指すという流れ、見取り図を示していかないと、なかなか住民の理解も進まないかと思う。</p> <p>(2) 「地域自治協議会」における支援策について</p>
<p>事務局</p> <p>会長</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>会長</p>	<p>事務局から資料3、4、5に沿って、地域自治協議会における支援策について、他の先進地における事例紹介や、西脇市での地区への補助金等の支出の状況、一括交付金の基礎額の考え方等について説明。</p> <p>資料にあるような例の数字などを見てもピンと来ないかもしれないが、皆さんから意見等を伺いたい。</p> <p>例えば、中畑町のほたる祭りの補助金などはこの資料の一括交付金に入っているのか。また、人権教育協議会補助金は、市全体の金額が入っているようだが、地区ごとに割ればもっと少なくなるが、そう思っておいてよいか。</p> <p>ほたる祭りについては地域活性化祭りとして市から補助金を出しているが、今回は資料に載せていない。今現在、全部で5件の対象があり、一括交付金に乗せても問題ないと考えている。人権教育協議会については、地区人協が活発に活動をされており、補助金額のこともあるが、地区によっては事務局が経理を持っている場合もあるということなので、地区の方でそこも含めてやっていくということになれば、一括交付金に含めても問題ないと考えている。</p> <p>例えば人権に関する費用について、地区にもよるが、外国人の多い地区などもある。その場合は同和関係と外国人関係とに分け、予算執行は地域自治協議会で振り分けて出していくということも可能かもしれない。</p> <p>資料4で区長手数料として15,134千円と出ているが、これは</p>

<p>委員</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>会長</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>会長</p> <p>事務局</p> <p>委員</p>	<p>各地区の区長に直接支払っているようなものなのか。</p> <p>各地区の区長に毎年均等割と世帯割を合わせて広報紙等の配布や調整事の手数料として支払っている分を挙げている。</p> <p>地域、地区といった名称を、協議会や交付金につけなくてはいけないものなのか。</p> <p>名称についてはどんなものでも構わない。地域や地区といった言葉がついていなくても問題はない。現に夢づくり交付金などといった自由な名称を使っているところもある。</p> <p>区長手数料について、名張市では長く続いていた区長制度自体を廃止し、区長手数料として支払っていた分を地域自治協議会へ交付金に含めて渡しているという例もある。その中で、各地区の自治会長に渡しているところもあれば、地域自治協議会で有効に利用しているところもある。その地域で自由に使うということで仕組が成り立っている。</p> <p>資料4で農林水産業費のなかに、多面的機能支払交付金として、大きい金額が上がっているが、これはどういったものなのか。</p> <p>これは、農地・水・環境の補助金で、農業用水関係の整備などに充てられる補助金。内容を見てみると、案外自由度の高いものであるため、一括交付金に含められるかと考えたが、担当課へ確認をすると、国からの補助金であるということだったので、今回対象外にした。</p> <p>補助金の一覧のなかに人件費等は入っていないが、また別で交付金として出すとっておいてよいか。</p> <p>事務局人件費はまた別で、事務局支援として考えている。まちかどミーティングでも説明しているが、市職員が直接関わっていくような形にするのか、各地域で事務局職員を雇ってもらい、人件費を支援するのか、色々な形があると思うので、そのあたりは非常に大きなカギとなると考えている。</p> <p>実際にこういった例のような補助金をまとめ、地域に一括交付金としてお支払いするとすれば、どのように感じられたのかお聞きしたい。</p> <p>金額云々はきっちり積算して出してもらえばよいと思うが、それを振り分けるときに、よほど客観的に判断し、よく議論を重ね平等にしなければ地区によっては不満の声があがらないかという懸念がある。現在は各地区から要望を直接あげ、市で判断をしてもらい、直接やり取りをしているため、ある程度そのような声は押さえられているように思うが、地域内でその判断をしていくとなればなかなか難しいところも出てくるのかと思</p>
--	--

事務局	<p>う。</p> <p>今考えているところでは、地域内の各集落へ分配したり、ある集落の整備について、優先順位を付けてやっていくというようなことには交付金が少ないので、どちらかといえば地域の夏祭りや、全体での防災訓練などのように、地域全体のことに充てていく方向で考えてもらう方がよいと思う。ただ、緊急に必要な</p>
委員	<p>費用で、市へ申請して手続きを踏んでということが難しいような場合に、交付金から捻出するという選択をすることもできるかと思う。</p>
委員長	<p>資料3の他市の積算根拠を見ると、ややこしいなという印象であるが、例の伊賀市や名張市を見ると、人口8万人から9万人で1億6千万円であるので、西脇市だと単純に半分の8千万円位になるのかと思って見ていた。その額を8地区に分けるとなると、単純に1千万円となるが、果たして地区でそれだけのものを使う能力があるのか心配に思う。成熟していない団体にとっては多額なのかなと思う。</p>
委員	<p>名張市の例に出ている金額については、16地区のなかにそれぞれ公民館があり、その指定管理料も含んだものとなっている。そのため、実際に交付金として自由度のある額は、半分くらいになると思ってもらって良い。</p>
委員長	<p>西脇市としての積算の根拠をしっかりと立てれば、額はどのようになっても良いかと思う。</p> <p>今度、まちかどミーティングでこのような話をしようとするならば、各地区の代表区長と事前に話をし、もっと地域自治協議会のことや、一括交付金のことを理解してもらっておく方がよいと思う。そうしておかなければ、その場でこのような話は進んでいかないと思われる。</p>
委員	<p>地域に資金が足りないような場合は、地域自らがビジネスでもって稼ぐ方法もある。最近では太陽光発電や小水力発電を整備し、電力を売って資金源にしているところもある。また、コミュニティレストランを運営する場合もある。独自の収入減を確保し、地域の福祉に使うといったことをしている。そういった工夫をしていかないと、交付金だけでは難しい場合もある。</p>
委員	<p>私はボランティア活動をずっとしているが、この予算を見てボランティアのメンバーは本当に一生懸命頑張っているなど思った。市民の税金ができるだけ有意義に、充実した事業として活かされればよいと思う。</p> <p>私は高齢者福祉に携わっているので、どうしてもその方面の</p>

会 長	見方になってしまうが、今年の4月から大きく制度が変わり、高齢者にとっては厳しくなっている。そのため、高齢者の支援、サポートについても色々と地域自治協議会と絡めて考えていきたいと思っている。
委 員	高齢者の支援、サポートなどについては、これからは地域で受託して行っていくということもあり得る。交付金は別であり、高齢者のサポート事業も地域内でやっていくようなことになれば、行政がするよりも、質のいいものができるかもしれない。そういった仕組みができれば、なお一層住み良い地域となっていくように思う。
委 員	今見てきたように、1地区に5百万円や1千万円の交付金といったような算用をしているが、資料を見る限り、その優先順位は付けられるとしても、省いていく事業を出さない限り、自由な使い道のできるお金は捻出しにくいと思う。そのため、地域自治協議会をつくる際には、リーダーと事務局の力量が非常に重要になるかと思う。その点で、事務局人件費の支援が重要な位置づけになってくると思う。
委 員	同じような事だが、資料にあるような交付金額の積算をすれば、用途がある程度決まっているようなものが多いので、交付金としての自由度が少ないように感じた。もう少し、各地区で自由に使えるような交付金で、積算とは別立てで考える必要もあるのではないかと思う。
会 長	実際には積算の例にあがっているものに加えて、自由度のある設定の交付金を市の予算に合わせてお渡しすることになると思うので、その部分で地域の特性に合わせ、節約する部分や投入する部分を決めてもらい、使ってもらえばよい。
委 員	実際に地域自治協議会を立ち上げ、一括交付金を交付するとして、今の流れであれば、進んでいる地域からモデル地区としてはじめてもらおうとなっているが、交付金の交付については積算や予算の方から見て他地区と分けて進めていく事は可能なのか。
事 務 局	そこが一つの問題ではあるが、政治判断も含むところであるので、モデル地区となっていてやっていただける地区については、最初は少し優遇するといったこともあり得る。ある程度自由度のある交付金を渡し、有効に使っていただけるかの検証を兼ねて見させてもらうこととなる。
委 員	実績のないことをやっていく訳なので、なかなかさっさと行けないと思う。議会の承認を得るためにはやはり高度の政治判断が必要になるかと思う。

<p>会 長</p>	<p>今おっしゃったように、二つの制度を同時に進めていく事は本当に難しいことだと思う。そういった面からも、地域自治協議会への切り替えは一斉に1年から2年で進めていくのが好ましいが、なかなかそうもいかない。交付金をお渡ししてというところについては、地域自治協議会が出揃ってから始めるということもできるし、これまで地域でやってきた必要な分の補助はこれまで通りとし、追加で自由度のある分をお渡しして検証するという事もできる。</p>
<p>委 員</p>	<p>何十年後かには、人口が減少していく事は明らかなことで、各市町村が先行きを見据えた活動の一環として地域自治協議会を作っていくというのがこの話の大筋だと思う。まずこのことをわかってもらう必要がある。そのうえで、例えば自治基本条例に基づいて組織をつくるということであったり、地域に住むありとあらゆる人が参加できるということなどの説明、西脇市の人口減少のシミュレーションをスライド等で見ながら、西脇市はこうなっていく、だからこうしていきたいといった流れで説明する必要があると思う。そして、この一連の流れを理解したうえでしっかり引っ張っていけるような情熱をもったリーダーを各地区で立て、行政と毎年しっかり調整がしていける枠組みをつくる必要があるかと思う。これから行うまちかどミーティングでは、この流れを簡単に説明し、進めていく方が良いかと思う。委員の皆さんがおっしゃっていることはその通りだとは思いますが、一般の人にとっては難しいと思う。簡単に箇条書きで良いのでそういったことをまとめていく方が良いと思う。何年後かには確実にこうなりますよ、だからその時にはこうして乗り切っていきますよ、ただそうするには時間がすごくかかるので少しでも早く少しずつやっていきますよという風に説明していけばわかり易いのかと思う。市としては、これでもかというくらい噛み砕いて、丁寧に説明をし、資料は簡単にすることをしないと、万人に解ってもらうことはできない。</p>
<p>会 長</p>	<p>おっしゃるように、皆さんにわかっていたくためには本当に丁寧に繰り返し説明していく必要がある。有効な資料を使いながら、確実に来る人口減少の時期にどう対応していくかということ、今のうちに準備しておく必要があるということをおっしゃっていただかなければならない。その手法としての地域自治組織であるということだ。それをパワーポイントの図や説明を使って1枚から2枚程度に簡単にまとめられたらわかってもらいやすいかと思う。</p>
<p>委 員</p>	<p>確かに危機感を持って皆さんされているのは、女性会や消防</p>

	<p>団でさえ各種団体の存続が危ぶまれているなかで、話し合いを重ねて、新たなまちづくりに踏み出している。ただ、そのために地域自治協議会をつくり、進めていこうという話し合いを持つ場は今ないと思う。地域自治協議会は絶対に必要だからと引っ張っていくリーダーがいて、色んな所に出向き、組織の設立のために働きかけているということがあれば良いが、現状はそうではない。どこかがモデル地区になって進め、その良いところを真似ていけば良いかなと思う。そのため、先行してモデル地区となってやっけていこうというところには、先行特約みたいなものをつけていかなければ、手を挙げる地区は出にくいかなと思う。</p>
<p>会 長</p>	<p>今おっしゃったように話をする場が無いということがある。色んな団体において役員会等はあると思うが、一般の方はそこに参加しない。日本全国それは普通のこと、問題の壁はそこにあるし、また解決のカギもそこにあるとよく言われる。もう少し地域のなかでいろいろな人が集まる場をつくるのも良いかなと思う。それは会議や意思決定を行うような場ではなく、老若男女色んな人がフリーな話題で話をする場としてあれば良い。そういったフラットな場を試験的にでも作ってみてはどうかと思う。何も必ず地域自治協議会という形でなくても、まちづくり協議会や区長会などがその役目を負っていくのも良い。ただ、10年、20年後に人口減少の時代を迎えた時に、地域のいろんな力を集める必要があるため、今からやっけていかなければということになる。</p> <p>また、多くの人がおっしゃっていたように、リーダーはすごく大事だと思うが、すごく強いリーダーが必要かといえばそうではない。最初に誰に頼むのかと考えるときには、例えば区長さんの中からお願いするのも良いかなと思う。その方がフランクな関係になり良いかもしれない。カリスマリーダーになってもらう必要はなく、それを支える何人かがいて、上手くまとまっていけば良い。</p>
<p>委 員</p>	<p>他に交付金のことなどで意見があればおっしゃっていただきたい。</p> <p>一括交付金のことなどについて話を進めていく事も重要だと思うが、やはりそれと並行してそれぞれの地区の代表区長に、地域自治協議会の必要性を理解してもらうことが必要かなと思う。理解と納得と共感をしなければものごとは進んでいかないので、その必要があるかなと思う。今日の神戸新聞の北播欄に西脇市制10周年の特集として黒田庄地区や比延地区のまちづくり</p>

委員	<p>の取組紹介と、地域自治協議会のことが掲載されていた。皆さんも是非見ていただけたらと思う。</p> <p>今、まちかどミーティングでも進められているが、人口減少の時代を迎えるにあたっての説明について、聞く人によれば、「人口減少でどんどん厳しくなっていくのに、あなた方はどうされますか」というような取り方をされるという懸念がある。行政が今の流れで提案や説明をしていくと、区長などのなかで、理由をつけて住民に押し付けてくるといった間違っただ見解になりかねない。そのため、住民の代表である私たち審議会委員が中心になり、住民側から皆さんの前で発言していく方が良いと思う。また、安倍首相が夢のような話を公式の場で話していたが、出生率が1.8という実現しにくいようなことを言っていた。このようなことを信じて、大丈夫だろうと思われると危機感もなくなり、今議論しているようなことは必要なくなってしまふ。それを上回る説明をしていかなければいけない。</p>
委員	<p>合併をする時に、先進地である朝来市から講師をお招きして話を伺ったことがあるが、それから年数もかなり経っていることもあるので、もしよければまたそのような方を招いて住民全体でお話を聞く機会があればと思う。</p>
事務局	<p>色々な先進地の例示や資料をいただき、内容はわかってきたが、そのようなところで地域自治協議会を設立した第一歩の詳しいことや、活動を進めてきた結果の現状で、メリットなどを皆さんに聞いてもらえたら良いと思う。</p>
事務局	<p>毎年各地区の区長会で先進地に行政視察に行ってもらっており、多くの地区で地域自治協議会の取組についての視察研修をしてもらっているが、今のところそれが地域自治協議会と結びつきにくいのが現状で、一つのまちづくりとしての印象くらいで終わっている。そのため、やはり代表区長を中心に、区長に地域自治協議会についての理解をしてもらうことが必要かと思う。</p>
会長	<p>地域自治協議会とまちづくり協議会の違いは大きく言えば、地域自治協議会は住民全体が構成員となり、準公共団体として自治基本条例に基づいて活動をしていく団体であり、交付金を交付し、まちづくりを進めていくというもので、一方まちづくり協議会については、同じような活動をしているにも関わらず、一種の任意団体ということになり、交付金を交付してというのは出来ない。他の先進地において、何十年も前から地域自治協議会を設立して活動を進めているところもあるが、どこでもやはり最初はすんなり進むということではなく、難航してい</p>

<p>委員</p> <p>委員</p> <p>会長</p>	<p>るものだ。西脇市と同じように行政が幾度となく説明を重ね、住民が会議を重ね、やはり必要だという見解にたどり着いてという難関を越えてきている。苦労を重ねる分、設立された後には住民の力はやはりある程度集結される。地域自治協議会の設立に向けて取り組んでいく価値は十分にある。このあたりで言うと、宝塚市が早くに取り組み、地域自治組織ができた。それを伊賀市や名張市が徹底的に学び、追いつき、追い越し、またその伊賀市や名張市を朝来市が学び、一番の先進地となるという風に、学び合いで進めば良い。良い関係も築いていける。</p> <p>地域自治協議会の取組や仕組、メリットなどが簡単にわかるような動画はないのか。日常的にDVDメディアなどを通じて情報を取り入れることが多いが、世代を通して動画が一番わかり易いと思う。作成するものもなかなか難しいと思うので、他の市町などであり、お借りできるのであれば借りてはどうか。</p> <p>朝来市のお話を以前に聞いたが、実際に地域自治協議会を立ち上げ、活動を進めているところの、設立後の話をぜひ聞きたいと思う。</p> <p>それは良いことだと思う。活動をしている当事者の話が一番ためになるので、事務局でも一度考えていただきたい。</p> <p>(3) その他</p>
<p>会長</p>	<p>今後は2つの補助金の在り方について議論をしていただき、併せて今回の地域自治協議会等に関する議論も進め、今年度予定している全5回の審議会を経て、答申を市長へ提出する予定で進めていきたい。また次回もよろしくお願ひしたい。</p> <p>2 今後の予定について</p>
	<p>(1) 第4回審議会の日程について 11月2日(月)に開催</p> <p>(2) まちづくり活動審査部会について 後日日程調整</p> <p>(3) まちかどミーティングの参加、まちづくり井戸端会議の配役について</p>
<p>問合せ先</p>	<p>都市経営部まちづくり課</p>